

株主通信 vol.40

RYOWA REPORT

空気と水のテクノロジー

第71期 業績のご報告

2019年4月1日～2020年3月31日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ 特集：テクノ菱和 創立70年のあゆみ〈技術編〉
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況





当社は昨年12月をもちまして、おかげさまで創立70周年を迎えることができました。これもひとえに、株主のみなさまをはじめ、お客様、取引先企業様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今後もいまだ一度創立時の精神に立ちかえり、より一層の発展を目指し社員一同決意を新たに努めていく所存でございます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第71期(2019年4月1日から2020年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。
環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。
人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬
意志疎通の徹底
技術力の研鑽

Q 当期の建設業界を取り巻く環境は いかがでしたか？

A 当期の国内経済は、上半期は企業業績、個人消費ともに一進一退の状況で推移しておりましたが、10月に実施された消費増税の影響を主因として、下半期から経済指標が大きく下振れる結果となり、加えて年明けからの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の縮小により先行きの見通せない状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資の増加により総建設投資は前年度と比べ増加いたしました。民間設備投資は、消費増税後に大きな落ち込みを見せるなど、受注環境は厳しい状況となりました。

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの連結業績は受注高57,933百万円、売上高60,926百万円、営業利益4,263百万円、経常利益4,505百万円、当期純利益2,927百万円となりました。

当期における受注状況は、民間企業の低調な設備投資需要の影響を受け、特に産業設備工事において大型物件の受注が減少したことから、前年を下回る結果となりました。利益につきましても、当期の受注高が減少したことや完成が翌期となる大型工事が多かったことにより売上高が減少したことから、前年と比べ減益となりました。

	当期 (百万円)	前期 (百万円)
受 注 高	57,933	67,149
売 上 高	60,926	67,391
営 業 利 益	4,263	4,518
経 常 利 益	4,505	4,857
当 期 純 利 益	2,927	3,041

(注) 本報告書において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

Q 来期の方針を教えてください。

A 新型コロナウイルス感染症が世界的な広まりを見せるなか、当社グループといたしましては、まずは、社内での感染予防策の徹底や従業員への注意喚起を行うことで、感染拡大の防止に努めてまいります。また、来期は中期3か年事業計画の最終年度となります。先行き不透明な状況ではありますが、方針として掲げた各項目を着実に実行し、継続的な事業活動に向けた取り組みを行ってまいります。

また、これまで当社が培ってきた特色ある技術を駆使した事業展開を目指し、品質の高い仕事を継続して提供することで、ひろくお客様から信頼される企業であり続けることを目標として「品質へのこだわりが信頼の原点」を来期のスローガンに掲げました。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 今後のわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて輸出は大幅に減少し、個人消費も外出の自粛が重石となって減少傾向が続くと見込まれることから、景気的大幅な下振れが避けられない状況となっています。さらに、この問題の収束時期を見通すことが難しく、長期化した場合は、さらなる景気悪化も考えられることから、先行きの不透明感が強まる状況が予想されます。



建設業界におきましては、政府の景気対策による公共投資の増加が期待されるものの、企業の経営環境悪化による設備投資の下振れは避けられず、厳しい環境となることが予想されます。

こうした新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現段階においては来期の業績を見通すことが困難であることから、来期の業績予想は未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 新型コロナウイルスによって現代社会は今まで経験したことのない様々な問題に見舞われました。収束への道筋が見通せないなか、私たちは新しい生活様式を取り入れてこうした問題に向きあっていかなければなりません。企業活動も同様であり、新たなビジネス様式への対応が求められていくものと思われます。当社グループにおきまして、これまでのスタイルに捉われることなく、働き方改革を推進し、環境の変化に柔軟に対応して事業の継続を図ってまいります。

なお当期の期末配当金につきましては、当期の業績や財政状況、配当水準等を総合的に勘案いたしました結果、創立70周年の記念配当1円を含む1株につき22円とし、年間では1株につき34円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

株式会社潤工社 山梨オペレイションズセンター



本物件は、同社のフッ素ポリマー製品の生産能力増強を目的として建設され、震災時対策としての免震構造を備えた工場であります。空調設備としては空冷モジュールチラーおよび外調機+空調機方式を採用し、省エネ運転が可能なシステムとなっております。また各製造室では外気処理量、局所排気量、各ユーティリティーを自由に配置可能とし、利便性向上を図っております。

概要	
完成年月	2019年6月
施 工 地	山梨県笛吹市
建物用途	工場
延床面積	5,350.04㎡
物件形態	地上6階
工事範囲	空調・衛生設備工事

としま区民センター



本物件は、豊島区の劇場都市としてのシンボルであるハレザ池袋のエントランスゲートとして再整備された区民センターであり、多目的ホールやスタジオをはじめとする複数の貸出施設を有する区民の文化創造の拠点となっております。空調設備については地域冷暖房により冷水と蒸気の供給を受け、建物全体の空調を行っております。またホールやスタジオのフロアでは配管やダクトの防音・防振を施し室内騒音の低減を図っております。

概要	
完成年月	2019年9月
施 工 地	東京都豊島区
建物用途	公民館
延床面積	9,073.96㎡
物件形態	地下3階、地上9階
工事範囲	空調設備工事

エフピコアリーナふくやま(福山市総合体育館)



本物件は、「すべてのひとに開かれたスポーツによる交流と賑わいの創造拠点」をコンセプトに建設された総合体育館であります。また施設内には防災・備蓄倉庫が備えられており、地域の防災拠点としての役割も担います。空調設備としては熱源機器に吸収式冷凍機を採用し、空調方式は全熱交換機+パッケージエアコン方式としております。また動力を電気とガスのハイブリッド方式とすることで、インフラ断絶等の有事の際のリスク分散機能を有しております。

概要	
完成年月	2019年12月
施 工 地	広島県福山市
建物用途	体育館
延床面積	16,238.31㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調設備工事

久留米大学 基礎3号館・病院北館



本物件は、同大学「創立90周年記念事業」の一環として建設された研究施設・病院であり、学内の研究者はもとより外部の企業関係者なども利用できる施設となっております。当社は両棟の設備施工を担当いたしました。基礎3号館の空調設備としては高速CAVによる風量管理を行っており、各室に再熱コイルユニットを設置して室内空気環境の維持・管理を行っております。また施設内の動物実験棟脱臭装置を設置しております。

概要	
完成年月	2020年1月
施 工 地	福岡県久留米市
建物用途	研究施設・病院
延床面積	基礎3号館8,273.96㎡・病院北館5,927.13㎡
物件形態	基礎3号館地上7階・病院北館地上5階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事



特集 | テクノ菱和 創立70年のあゆみ〈技術編〉

株式会社テクノ菱和は昨年12月をもちまして創立70周年を迎えることができました。
当社はこの70年の間に数多くの実績を上げ、技術力の研鑽に努めてまいりました。
これからも株主のみならず、みなさまからの信頼とご支援をいただけるよう、企業価値の一層の向上に努めてまいります。
今回は当社が培ってきた70年間の技術開発のあゆみをご紹介します。

70年間の主なあゆみ

1949年

レイト工業株式会社として
愛知県名古屋瑞穂区熱田
東町に設立

1966年

「RES」初版発行
現在は「空調・衛生技術データ
ブック」のタイトルで学会、業界に
教材として採用されている



1989年

商号を株式会社テクノ菱和に変更

テクノ菱和

1991年

新型イオナイザー
「シースエア式」で空気清浄
協会から優秀賞を受賞

2000年

常温でのホルムアルデヒド
分解装置
「FOTRAM(フォトラム)」



2000年～

2004年

低温排熱利用気化式
加湿型空調機
「ECOWET(エコウェット)」が
日本機械工業連合会会長賞受賞



1996年

中央監視システム
「TECBEAMS(テックビームス)」

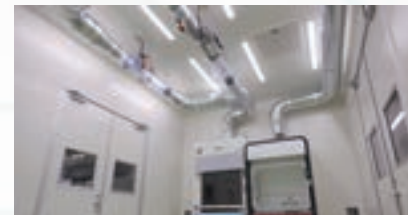


2011年

省エネ低湿度システム
「RECODRY(レコドライ)」

2011年

ドラフトチャンバーの
省エネシステム「REAFS(リーフス)」



2010年～

2013年

クラウド型設備運用支援サービス
「SmartSOLAVICE(スマートソラビス)」



2016年

HEPAフィルター自動リーク検査・
管理システム
「HALISCANNER(ハリースキャナー)」

HALISCANNER

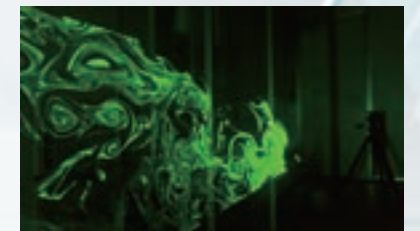
2016年

医薬品製造工場向け
中央監視システム
「TECBEAMS+P(テックビームス・プラスピー)」

TECBEAMS+P

2016年

気流・微粒子可視化システム
「Casica(カシカ)」



Casica

2017年

メンテナンス・バリデーション
サポートシステム
「VM-Scope(バイエムスコープ)」

VM-Scope

2018年

神奈川県横浜市に
テクノ菱和R&Dセンター
(技術開発研究所)
を新設



70 Years of History

1949年～

1953年

商号を
菱和調温工業株式会社に変更

菱和調温工業株式会社

1986年

東京都世田谷区に
技術開発研究所を新設



2018年



受注高	売上高	経常利益	当期純利益
57,933百万円 ＜前期比 13.7%減＞	60,926百万円 ＜前期比 9.6%減＞	4,505百万円 ＜前期比 7.2%減＞	2,927百万円 ＜前期比 3.7%減＞

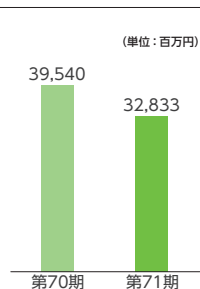
受注高構成比

(総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

56.7% 32,833百万円

当期は、医薬品・食品関連施設を中心に受注量を確保したものの、前年に大型案件の受注があった反動から、前年を下回る結果となりました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

3.6% 2,099百万円

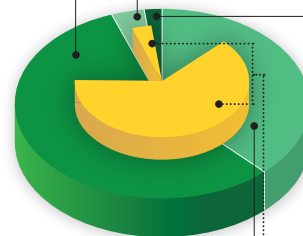
連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

1.9% 1,096百万円

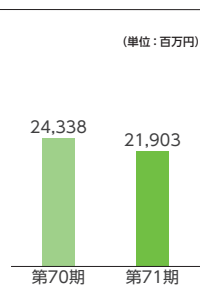
設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。



一般ビル設備工事

37.8% 21,903百万円

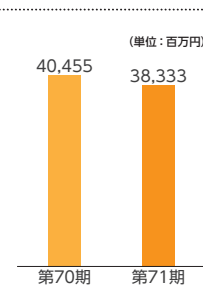
当期は、医療施設や商業施設を中心に受注が堅調に推移したものの、前年比では受注量は減少いたしました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し受注量の確保に努めてまいります。



設備改善工事

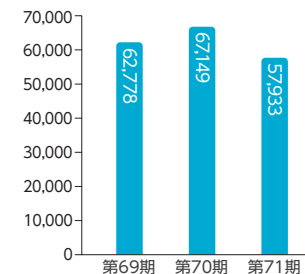
66.1% 38,333百万円

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



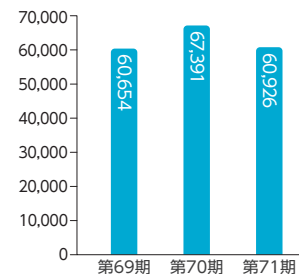
受注高の推移

(単位：百万円)



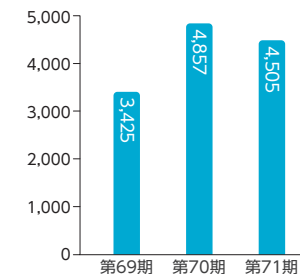
売上高の推移

(単位：百万円)



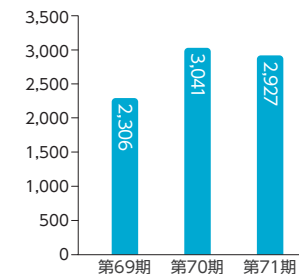
経常利益の推移

(単位：百万円)



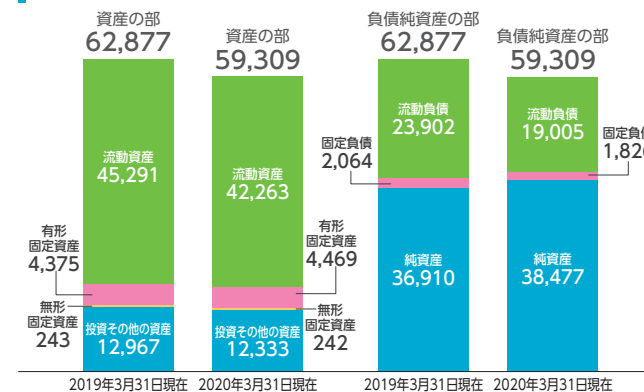
当期純利益の推移

(単位：百万円)



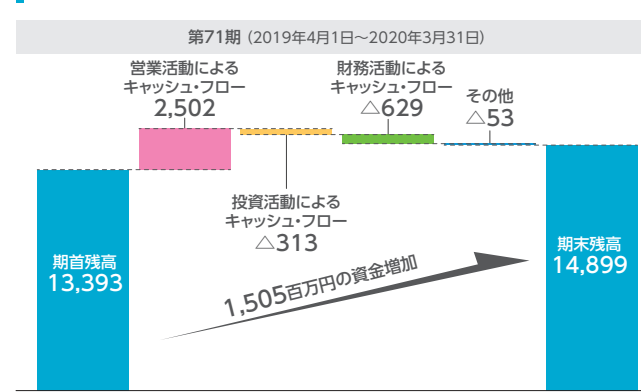
貸借対照表の概要

(単位：百万円)



キャッシュ・フローのポイント

(単位：百万円)



財務のポイント

資産の部

流動資産における現金及び預金の増加14億円、受取手形・完成工事未収入金等の減少18億円、電子記録債権の減少31億円を主な変動要因として、前期末と比較して35億円減少し、593億円となりました。

負債の部

流動負債における支払手形・工事未払金等の減少31億円、電子記録債務の減少15億円、固定負債における長期借入金の減少1億円を主な変動要因として、前期末と比較して51億円減少し208億円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加24億円、その他有価証券評価差額金の減少3億円を主な変動要因として、前期末から15億円増加し、384億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して6.2ポイント上昇し64.9%となりました。

キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上による資金増加44億円、売上債権の減少による資金増加49億円、仕入債務の減少による資金減少47億円を主な変動要因として現金及び現金同等物は前期末と比較して15億円増加し、148億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ



テクノ菱和 検索

会社概要（2020年3月31日現在）	
商 号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設 立	1949年12月23日
資 本 金	2,746,800,000円
上 場	東京証券取引所市場第二部
従 業 員	725名（連結844名）
本 社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

■産業設備関連事業

■一般ビル設備関連事業

■電気設備工事業

■冷熱機器販売事業

■太陽光発電事業

■不動産賃貸事業

■保険代理事業

■建設資材製造販売業

主な事業所	
技術開発研究所(神奈川県横浜市)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	静岡支店(静岡県静岡市)
千葉支店(千葉県千葉市)	大阪支店(大阪府大阪市)
茨城支店(茨城県土浦市)	中国支店(岡山県倉敷市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	九州支店(福岡県福岡市)
東北支店(宮城県仙台市)	海外事業部(東京都豊島区)
横浜支店(神奈川県横浜市)	

役員（2020年6月26日現在）			
取締役			
代 表 取 締 役	黒 田 英 彦		
取 締 役	星 野 宏 一		
取 締 役	鈴 木 孝 也		
取 締 役	加 藤 雅 也		
取 締 役(社外)	武 田 公 温		
取締役常勤監査等委員	雑 賀 純 二		
取締役監査等委員(社外)	本 間 正 広		
取締役監査等委員(社外)	小 坂 井 千 春		

執行役員			
社 長 執 行 役 員	黒 田 英 彦		
専 務 執 行 役 員	星 野 宏 一		
常 務 執 行 役 員	鈴 木 孝 也		
上 席 執 行 役 員	黒 田 長 憲		
上 席 執 行 役 員	窪 和 敏		
上 席 執 行 役 員	加 藤 雅 也		
上 席 執 行 役 員	福 士 富 三		
上 席 執 行 役 員	大 石 勉		
執 行 役 員	鈴 木 俊 夫		
執 行 役 員	袴 田 一 博		
執 行 役 員	齋 藤 吉 信		
執 行 役 員	伊 豆 丸 暢		
執 行 役 員	富 山 潤 也		
執 行 役 員	堀 下 浩		

企業集団の状況 ※連結子会社			
東京ダイアエアコン株式会社※		株式会社アール・デザインワークス	
所 在 地	東京都新宿区	所 在 地	大阪府大阪市
主要な事業の内容	空調衛生設備工事業	主要な事業の内容	空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社※		株式会社ダイヤモンド	
所 在 地	愛知県名古屋市	所 在 地	東京都港区
主要な事業の内容	空調衛生設備工事業	主要な事業の内容	保険代理業
松浦電機システム株式会社※		KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD.	
所 在 地	大阪府守口市	所 在 地	ミャンマー連邦共和国
主要な事業の内容	電気設備工事業	主要な事業の内容	建設資材製造販売業
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING※			
所 在 地	インドネシア共和国		
主要な事業の内容	空調衛生設備工事業		

得意先

株式会社テクノ菱和
空調衛生設備工事業 | 冷熱機器販売事業

電気設備工事業
子会社
松浦電機システム(株)※
保険代理業
子会社
(株)ダイヤモンド

空調衛生設備工事業
子会社
東京ダイアエアコン(株)※ 菱和エアコン(株)※
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING※
(株)アール・デザインワークス
KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD.

株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

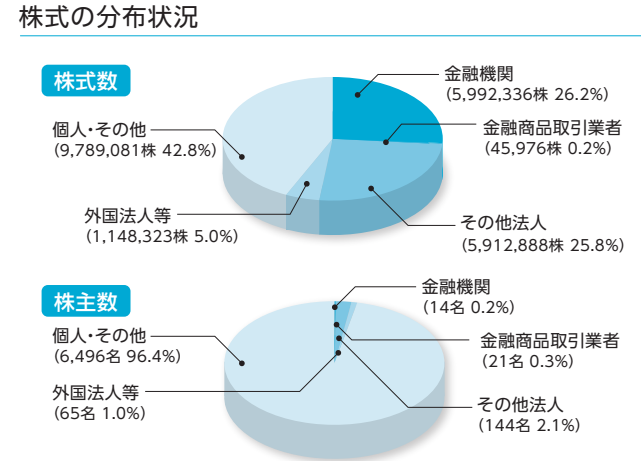
ご優待品「特選茶」

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況	
発行済株式の総数	22,888,604株
当期末現在の株主総数	6,740名

大株主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,224	10.0
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.4
株式会社三菱UFJ銀行	1,091	4.9
株式会社みずほ銀行	1,091	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.0
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.2
テクノ菱和従業員持株会	719	3.2
近重 次郎	672	3.0

※ 当社は、自己株式737,789株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単 元 株 式 数	100株
公 告 掲 載 U R L	https://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸 手 続 き お 問 い 合 わ せ 先	【住所変更、買取請求その他各種手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせ下さい。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。
ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。
詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711（通話料無料）

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

